

# DexⅢ型 デックス 使用説明書

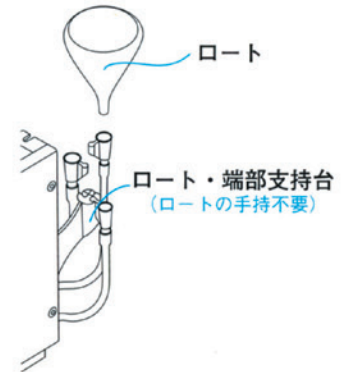
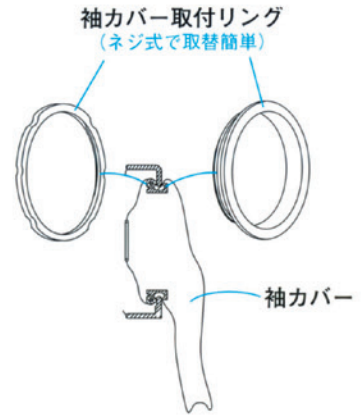
歯科用レントゲンフィルム現像機



株式会社 阪神技術研究所

# セット説明

1. 内視筒
2. チェンジボックス
3. 本体
4. 袖カバー(下記参照)
5. ロート
6. リングコップ
7. 標準ガイド
8. 標準リング
9. 小児用ガイド
10. 小児用リング
11. 専用現像液DE
12. 専用定着液DP



## ◆ 注意事項

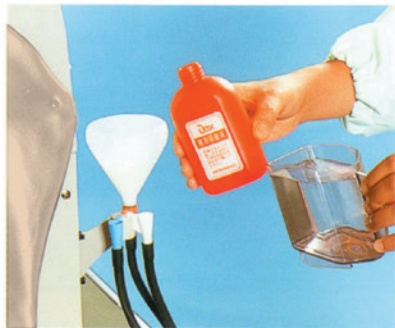
- Dexはレントゲン装置、発熱体、直射日光等に近づけない様にして下さい。
- リング及びガイドは発熱体に近づけない様にして下さい。  
リングは傷をつけない様にして下さい。(裏向けに使用しますと傷がつきます。)
- 外国フィルムは別売の専用リングとガイドを使用して下さい。(P.7参照)
- 液を入れたまま移動しないで下さい。
- 本体及び付属品の清掃は、水又は家庭用洗剤で洗浄して下さい。  
溶剤(シンナー等)を含むものは使用しないで下さい。
- 補修部品は単品でも販売して居ります。上記名称でご用命下さい。
- 1年以内の通常使用による故障は無償で修理致します。なお温度センサーの再調整等のため、**2年毎位にオーバーホール(有償)をおすすめ致します。**

## ◆ 仕様

相	単	相	消費電力	関西(60 $\sim$ )94.5W
電		100V		関東(50 $\sim$ )93.0W
タンク容量	各槽	360c.c.	液込重量	6.7kg
寸	法			
	幅256mm×奥行235mm×高さ471mm			

# 液の注入・排出・温度調整

## 各液の注入法



専用現像液DE + 水1カップ  
(液交換の目途はフィルム約150枚又は1週間毎)

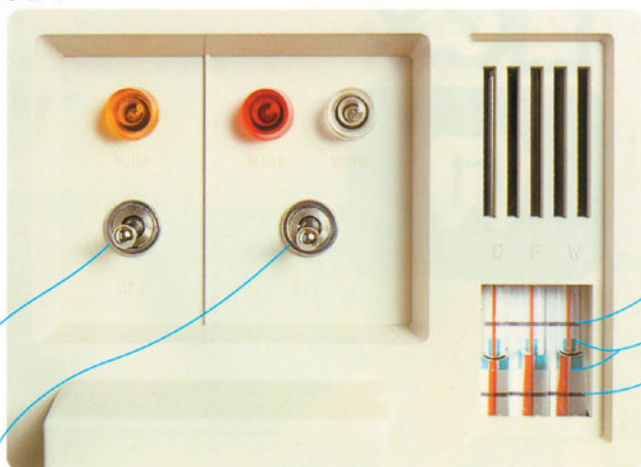


専用定着液DP + 水1カップ  
(フィルム約150枚又は1週間毎)



水2カップ  
(約100枚毎)

## 液温調節法



- 電源ヒータースイッチを入れます。  
(電源パイロットランプ点灯)  
(ヒーターパイロットランプ点灯)
  - モータースイッチを入れます。  
(モーターパイロットランプ点灯)  
(処理液の搅拌)
  - ヒーターパイロットランプが消えてから  
現像を始めて下さい。
- (処理液が適温になっています。  
其の後のヒーターパイロットランプが点  
滅しながら処理液を適温に保ちます。)
- 現像しない時は、モータースイッチのみ  
切して下さい。
  - 液を注入しないで通電すると故障や**火災**  
の原因となります。

●特に定着の遅いフィルムの  
場合は水槽にも定着液  
を入れて下さい。

液量上限  
液量標準部分  
液量下限

## 各液の排出法



- ホースを下げて液をビーカー等を受け  
て下さい。
- 新しい液を入れる前には水を入れて、  
しばらくモーターを回し水洗後、排水  
して下さい。



# 現像操作



- 内視筒を外します。
- フィルム装着ガイドを固定部に、はめます。
- フィルムとリングを入れます。



- 内視筒をはめこみます。

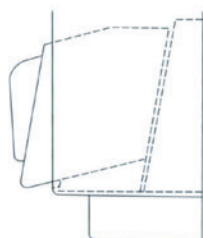


- モータースイッチを入れます。  
(内部安全照明点灯)
- リングコップを格納します。

- 設置場所は太陽光や室内灯の光が内視筒から直接入らない場所をお選び下さい。



正しい入れ方



誤った入れ方



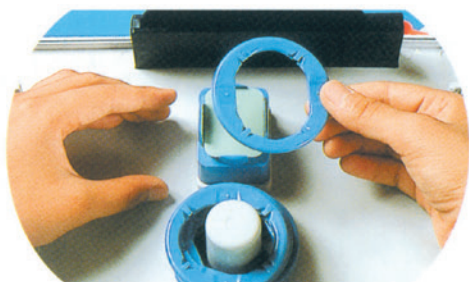
(リングが出なく  
なります)



フィルム取り出  
します。



フィルムをガイ  
ドに乗せます。



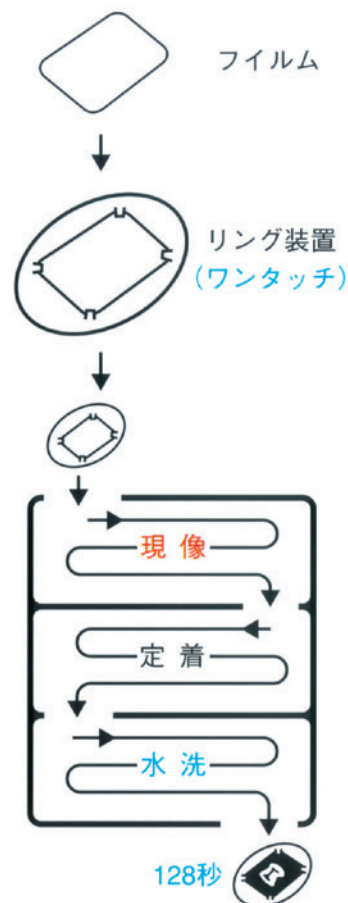
リングをガイ  
ドにかぶせます。  
(凸マーク、又は  
一本爪が上面。)



リングを押  
えてフィルムを  
リングに装着  
します。  
(フィルムの四隅  
の装着を確認  
して下さい。)



リングを投入  
します。  
(12秒毎に連続  
投入可能。)



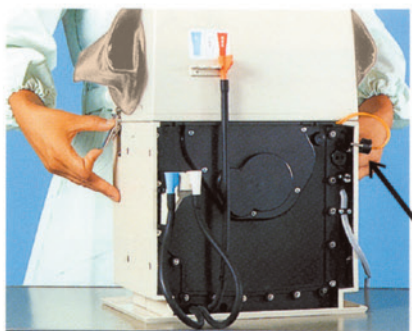
現像完了

長期保存の為に再度完全な水洗をして下さい。



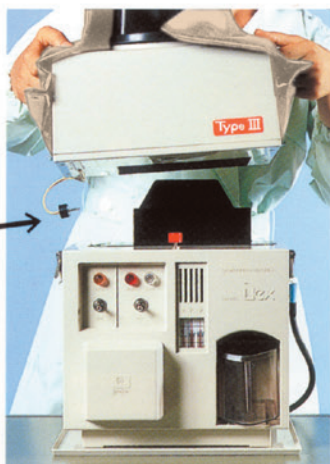
# 異常の場合のチェックポイント

	状 態	原 因	処 理	参 照
現 像 前	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れてもパイロットランプが点灯せずモーターが動かない。</li> <li>●安全灯の内部照明がつかない。</li> <li>●安全灯照度の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気が通じてない。</li> <li>●ヒューズが切れている。</li> <li>●その他接触不良。</li> <li>●安全灯のゆるみ。</li> <li>●長時間使用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンセントの確認。</li> <li>●ヒューズボックスの点検。</li> <li>●断線の点検。</li> <li>●安全灯の交換。</li> </ul>	
現 像 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベチベチ音がしてリングが出ない。 (送り機構停止)</li> <li>●送り機構正常でリングが出ない。</li> <li>●リングのみ出る。 (タンク内のフィルム外れ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リング、フィルム、異物(袋、黒紙、鉛、紙綿等)の詰り。</li> <li>●リングコップの位置不良による出口のリング詰り。</li> <li>●投入口にフィルム、異物が詰りリングがタンク内に入らない。</li> <li>●フィルムの装着不良。 フィルムとリングのサイズ不一致。</li> <li>●リングの爪のいたみ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源及びモータースイッチを切ってP.7の修理手順により機械を解体し、フィルム及びリングを取り出して下さい。</li> <li>●装着時の確認を行う。</li> <li>●フィルムに合ったサイズのリングとガイドに変える。</li> <li>●新しいリングと交換する。</li> </ul>	<p>P.7</p> <p>P.7</p>
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィルムにコントラストがつかない。</li> <li>●定着抜けが悪い。</li> <li>●硬膜がきかない。</li> <li>●未現像、未定着の部分がある。</li> <li>●フィルムカブリが起こる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現像液疲労又は定着液の混入による能力の劣化。</li> <li>●定着液の疲労による能力の劣化。</li> <li>●液量の不足。</li> <li>●X線、光(袖の破れ、内視筒から)によるカブリ。 長時間チェンジボックス内でのフィルム放置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●処理液の交換。</li> <li>●特に定着抜けが悪いフィルムの場合は水洗槽にも定着液を入れる。</li> <li>●処理液の補充。</li> <li>●未撮影フィルムによりブラケットテストを行って下さい。</li> <li>●設置場所または方向の変更。</li> </ul>	<p>P.3</p> <p>P.3</p>



- ゴムホースをロート支持台に移します。
- チェンジボックスコンセントをはずします。
- 左右のチェンジボックス取付金具をはずします。

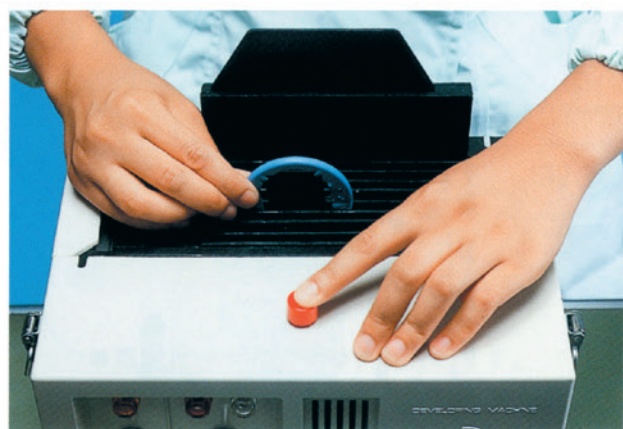
チェンジボックスコンセント



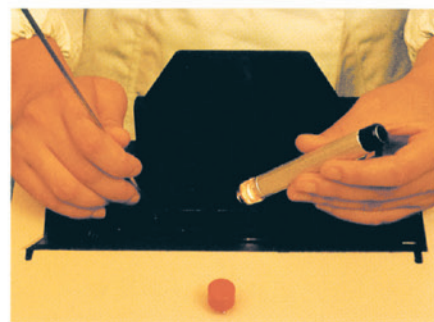
- 垂直にチェンジボックスをはずします。



- 上蓋をはずします。
- 本体を前の方向に傾けます。本体の後部を受皿の縁にのせます。



- 電源を入れて赤ボタン(逆転用スイッチ)を押すと、詰っているリングが出てきます。出てこない時は正転、逆転を繰り返します。
- リングが、かみ込んで出てこない時は、ひっかき棒を使ってリングのかみ込みをはずして、再度上記手順でリングを取り出して下さい。



- ペンライトで内部を照らしながら脱落したフィルム等をひっかき棒で取り出します。

#### 外国フィルムなど特殊フィルムについて

外国フィルム(標準サイズ)は寸法が若干大きいので、必ず別売のリングDRIとガイドDGI(オレンジ色)をご使用下さい。附属の標準リング・ガイド(ブルー色)で無理にご使用になりますと、フィルム落ちなど機械故障の原因になります。なお、小児サイズ外国フィルム用のリング・ガイドはありませんので、当社の小児用フィルム(DIC、BCS、BCW)をご使用下さい。当社製DIM(前歯サイズ)用のリング・ガイドも別売にて用意して居ります。